

# 四季のうつろいに 心ときめいて

ときめき 美人  
—培広庵コレクション名品展  
2024.1.7[日]—2.18[日]

「美人画」は日本独自の  
絵画分野といわれま  
す。培広庵コレクショ  
ンは、美人画が隆盛した明治末か  
ら昭和にかけての優品に、季節の  
情景が表現されています。  
《鶯宿梅 紅梅内侍》は、小桂  
姿の宮廷女官が、宮中へ献上され  
ることとなった自邸の紅梅を見つ  
めています。枝先の結び文には歌  
が認められていました。その後、  
帝は「(梅の木に) 鶯が帰って来て  
私の家はと問われたら、なんと答  
えましょう」との歌意に心動かされ、  
梅の木を返しました。歌の主は紀  
内侍、梅は父紀貫之の形見でした。  
舞妓の物憂げな面差しが印象的  
な《惜春》からは、桜の散りざわ  
の感傷的な気分が漂います。

島成園《惜春》 大正12年(1923)頃



菊池契月《羽子》(部分) 昭和10年(1935)

《秋思》は涼風に一息つく頃で  
しょう、島田を結った娘が微睡んで  
います。菊や桔梗文様の着物が御  
簾越しに垣間見える描写にも、夏  
から秋への移ろいを感じられます。  
羽根つきを心待ちにする少女を  
描いた《羽子》。端麗な立ち姿、朱  
の暈しに白梅を配した振袖の鮮や  
かさが、正月の晴れやかな雰囲気  
を伝えます。

日本画の四季の表現は多彩で繊  
細です。物語の一場面を彩り、衣  
装や持物に相応しい文様を配し、  
女性たちの表情やしぐさにも折々  
の情感を託してきました。美人画は、  
日本の美意識の象徴ともいえま  
しょう。

本展は、同コレクションを中心と  
した約70点により日本の四季をた  
どりまます。京都の上村松園や菊池  
契月、東京の錦木清方や池田蕉園、  
大阪の北野恒富や島成園など、当  
代を代表する日本画家たちが、新  
春の訪れとともに、心ときめく美  
の世界へ誘います。

(学芸グループ長 河内えり子)

左から  
池田蕉園《秋思》 大正2年(1913)頃  
紺谷光俊《鶯宿梅 紅梅内侍》(部分)  
昭和5年(1930)頃  
本展の掲載作品はすべて培広庵コレクション

# 鹿児島陸が日々想う、 わたしたちの「まいにち」を感じる、 しあわせな時間を。

「鹿児島陸 まいにち」展  
2024.2.24[土]—4.14[日]

陶 芸家・アーティストの  
鹿児島陸の初の大規  
模展を開催します。

鹿児島陸は1967年福岡生まれ。造  
形作家の祖父の影響を受けて沖縄  
県立芸術大学で陶芸を専攻、卒業  
後はインテリアショップに勤務し、  
2002年陶芸家として独立しました。  
犬や猫、ライオンや馬、ヘビ、ユニ  
コーンなどの生きものたち、抽象  
的で不思議なかたちの草花などの  
モチーフを器いっぱいに展開させ  
た鹿児島陸の陶芸は、国内外で高  
く評価され、多くの人々の生活を  
彩っています。

鹿児島陸の器は様々な技法によっ  
て1点1点手作りされます。黒地  
や白地に鮮やかな顔料で絵付けし



「鹿児島陸 まいにち」展のための器 2023年

たもの、絵柄部分の輪郭に削りを  
ほどこしたものの、軋抜きによる染付。  
本展では、豊かな色彩とデザイン  
から生み出された陶芸作品を中心  
に、ファッション、インテリア、フー  
ドなどとのコラボレーションによる  
多彩なプロダクトを含め、「あさご  
はん」「さんぽ」「ひるごはん」「ぼ  
んごはん」「おやすみなさい」など、  
繰り返される日々のシチュエー  
ションごとに紹介します。

アトリエ 撮影：田附勝



「僕がつくるものがアートなのか道  
具なのか、答えは出ていません。  
…僕がつくっているのは器であっ  
て、誰かが生活の中で使うもので  
すから、自分の主義や主張を込め



てはいけないと思うんです。…見  
る方や使う方それぞれに解釈して  
もらうしかない」「でも、人が喜ん  
でいる姿を見るのは素直にうれし  
いかな。周りの人が喜ぶことが、  
僕の喜びなのかもしれません。」

(図録「鹿児島陸 まいにち」インタビューより)

鹿児島陸のまいにちと、そこから  
生み出された器。一緒に暮らした  
らしあわせだろうな、と思わせる  
作品たちに、どうぞ会いに来てく  
ださい。

(館長 坪井則子)



ミュージアムショップ

「ときめき 美人—培広庵コレクション名品展」(1/7-2/18)

「鹿児島陸 まいにち」展  
(2/24-4/14)

手ぬぐい4種 各1,650円  
トートバッグ(ライオン/花) 各2,530円  
Tシャツ(ネコ/イヌ/ワニ) 各5,280円

縮小屏風 各3,300円 A4クリアファイル 各440円